

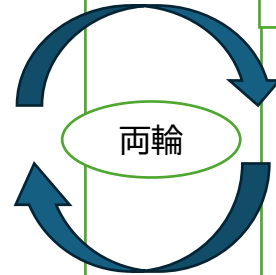
## 祭礼文化の継承に係る調査研究の全体像

千代田区にとって祭礼文化とは

- 地域に根差し、世代や立場を超えた交流を生み出す ⇒ 地域コミュニティの再生と活性化に大きく寄与するもの
- 多くの町会が祭礼道具を備え、受け継いできた ⇒ 文化的価値を有するもの

コミュニティとしての価値

- ・世代や立場を超えて準備・運営する
- ・自分たちの「地域」を語るうえでの象徴的行事
- ・祭礼当日は多様な住民とのコミュニケーションの場  
⇒地域コミュニティの団結力向上、多様な住民との橋渡し、地域への愛着心向上



文化・経済としての価値

- ・神輿や山車、囃子道具、衣装等の有形資産
- ・掛け声、しつらえ、囃子の型や所作等の無形資産
- ・これらが単体ではなく、各町会で「群」として存在
- ・祭礼を「見る」ことによる、にぎわい、体験価値の創出  
⇒文化的価値の再認識と、区内経済活性化の実現

本日のシンポジウムの位置づけ

- 本区の祭礼の歴史的経過と文化的価値を再認識する。
- 祭礼文化を未来に継承するために必要な論点を提示する。

これに加えて

- 祭礼文化の隠れた効果「協働のインフラ」について議論する。
- 祭礼文化の継承が、幅広い「公益性」につながることを議論する。

前半：基調講演

後半：パネルディスカッション

## ○調査研究の歩みと今後

### 千代田区にとっての祭礼とは

- ・祭礼の歴史的経緯を確認
- ・祭礼道具の文化的価値を確認
  - ★祭礼道具一覧表の作成着手
- ・祭礼文化継承に必要な視点を整理
- ・祭礼と行政の法的関係性を整理

継承の必要性を確認  
【現在位置】

### 祭礼文化が持つ公益性とは

- ・多様な区民との交流のかけはし
- ・防犯、防災上のシミュレーション
- ・祭礼道具が持つ文化的価値の確立
  - ★祭礼道具一覧表の完成
- ・祭礼文化を通じたにぎわい創出、経済効果

## ○祭礼文化の継承に向けた課題と取組案

### 【コミュニティ】からの視点

- ・祭礼文化の運営を担う人材が不足している
- ・祭礼文化の全体像が広く認識されていない
- ・祭礼の準備段階において住民間で認識が異なっている

- ・祭礼文化の準備、運営手順に関する可視化の研究
- ・区民や来街者に対する江戸文化の積極的な魅力発信
- ・祭礼当日のみならず、準備段階も含めた情報発信

### 【文化・経済】からの視点

- ・祭礼道具の維持管理に対して経済的負担感が大きい
- ・祭礼道具の維持、保存、展示等に関するノウハウが少ない
- ・祭礼文化と観光集客に関する研究が少ない

- ・行政と連携して経済的課題への対応を研究
- ・他自治体の事例も参考に、維持、保存団体について研究
- ・「見せる祭礼」の観点から観光集客のあり方を研究